

JAM甲信 第28回定期大会

郡山議員・村田議員 両輪の継続を

JAM甲信は2026年9月11日（金）に、長野県千曲市の上山田温泉「ホテル圓山荘」に於いて、JAM甲信第28回定期大会を開催した。

今年度の定期大会は9名の来賓にご臨席頂き、代議員・傍聴など総勢138名が出席した。

冒頭、JAM組織内国会議員の郡山りょう参議院議員が挨拶に立ち「2025年7月の参議院選挙では、JAM甲信の皆様のご支援のおかげで当選することができ、参議院議員として、この1年間現場の声を国政へ届けることが出来た。皆様のお取り組みに感謝申し上げます」「2028年の参議院選挙まで2年を切った。ものづくり産業発展のため、組織内国会議員の必要性、村田享子参議院議員の必要性を訴えていく。村田議員が経済産業委員会で、私が厚生労働委員会で両輪の取り組みを継続させなければならない」と力強く語った。



「両輪の取り組みが必要」と語る郡山議員

続いて濱執行委員長より「熊本地震ならびに千葉県豪雨災害で亡くなられた皆様に哀悼の意を表すとともに、被災された皆様にお見舞いを申し上げます。自然災害が増加傾向にあり、他人事ではないと再認識する必要がある。日頃の備えや避難場所を職場や家族で共有出来ているかの確認をして頂きたい」「2026年春闘について、甲信において極めて大きな成果を上げることが出来た。賃上げを一過性なものとしせず持続的なものへとつなげていくことが重要である。そのためにも、適切な価格転嫁と適正な取引慣行の取り組みを強化し、すべての働く仲間へ賃上げの流れを波及させていく必要がある」「政策実現活動では、2028年・第28回参議院選挙における村田享子参議院議員の再選に向けた推薦決定を行

い、本大会を出発点として具体的な取り組みをスタートさせたい。現場の声を一つでも多く国会に届けるためにも、皆様のご協力をお願いしたい」と挨拶があった。



「持続的な賃上げが必要」と挨拶する濱執行委員長

大会では、2026年度の活動報告と会計報告等が行なわれ、その後、第1号議案：2027年度活動方針案に関する件、第2号議案：2027年度予算案に関する件、第3号議案：2027年度・政策実現活動に関する件、第4号議案：2027年度・役員補充に関する件、第5号議案：役員表彰に関する件が提案された。

大会決議（案）、最後に大会宣言（案）を読み上げ全ての議事が満場一致で可決、承認がされ、濱執行委員長の団結ガンバローで大会は閉会となった。

定期大会終了後の懇親会へ、JAM準組織内国会議員の村田享子参議院議員が駆けつけ「JAMの組合員の声を聞き、通勤手当の非課税限度額の引き上げ、食事補助の非課税限度額の引き上げなど野党1年生議員でも政策実現をすることが出来た。皆様の取り組みに感謝申し上げます」「皆様が第2の村田享子として、職場やご家庭で“政策は現場の声から変えられる”と伝えてほしい」と挨拶があった。



「現場の声で政策は変えられる」と挨拶する村田議員

* 2027年度 JAM 甲信役員体制 *

2027年度は改選期ではないが一部交代となり、下表の通りとなった。

☆印：新任

役 職	選出枠	氏 名（選出単組名）	役 職	選出枠	氏 名（選出単組名）
執行委員長	全 体	濱 章義（TPR）	執行委員	山 梨	堀内 亮佑（キッツ長坂）
副執行委員長 （地区協 議長）	山 梨	櫻井 澄人（キトー）	（地区協 事務局長）	長 野	青木 俊晴（都筑製作所）
〃	佐 久	須田 雄一（カヤバ長野）	〃	佐 久	池田 明里（シチズンミヨタ）
〃	中 信	三枝 昌寛（TDK千曲川）	〃	中 信	米山 渉（カイジョー松本）
〃	上伊那	倉科 幹（HDS）	〃	上伊那	林 祐樹（タカノ）
〃	飯 田	北澤 修己（NTN上伊那製作所）	〃	飯 田	藤井 純子（多摩川精機）
〃	諏訪北	井口 利広（シチズン飯田）	〃	諏訪北	江間 俊介（ミクナスFE）
〃	諏訪南	赤羽 理（エグロ）	〃	諏訪南	堀井 大地（セリオテック）
副執行委員長	男女共同参画	太田 昂志（諏訪三社電機）	執行委員	上小連絡会	島滝 純（松山）
		加藤 美保（大和電機工業）	〃	男女共同参画	都筑奈緒美（多摩川精機）
財政委員長	兼 務	太田 昂志（諏訪三社電機）	会 計 監 査	佐 久	☆松本 直孝（シチズンマシナリー）
書 記 長	専 従	佐野 亮一（書記局）	〃	飯 田	佐々木陽信（天竜丸澤）
副 書 記 長	専 従	小林 秀樹（書記局）	特別執行委員	青女協議長	米山 未来（TPR）
顧 問		杉原 孝一（TDK甲府）	〃	副議長	五味 志優（諏訪三社電機）
		櫻井由紀夫（書記局）	〃	男女共同参画	小尾ゆう子（キトー）
			〃	男女共同参画	小林 志保（電算印刷）
			〃	連合長野	竹村 進（多摩川精機）
			〃	長野労金	小倉 康男（松山）
			〃	長野労済	吉田 淳一（STG）

※特別執行委員・顧問・参与は選挙でなく執行委員長より委嘱

退任役員

役 職	選出枠	氏 名（選出単組名）	役 職	選出枠	氏 名（選出単組名）
—	—	—	会 計 監 査	佐 久	盛野 恵太（シチズンマシナリー）

* * 2027年度の重点課題 * *

—現場の声ではたらくを変えよう—

（概要・抜粋、☆：関連項目の新規追加）

- 2028年・第28回参議院選挙における村田享子参議院議員の再選に向けた政策実現活動の強化
 - 第27回参議院選挙の総括を活かしたワンランクUPの活動を進めます。
☆村田享子参議院議員の再選に向けた取り組みを協議し、対策の強化を図っていきます。
- 地区協活動の充実と単組支援体制の強化
 - 地区協幹事会における課題研修と情報交換を更に進めます。
 - 「出席して参考になった」という活動を目指します。
 - JAM甲信の役員の負担軽減と効率的な会議運営の構築を図ります。
☆「雇用対策指針・組織防衛指針」に組合役員の後継者不足などの解散・離脱原因への対策を付加し、地区協役員と共に支援体制を強化していきます。
- 教育学習活動の強化

単組役員のリーダー育成を強化していきます。

 - 年間研修計画の実施による組合リーダーの育成
 - 単組課題に合わせた出前研修の継続実施
- 組織拡大
 - 組織の内外において仲間作りを強化します。

2026年8月27日～28日にかけて、JAM第28回定期大会が岐阜市の岐阜グランドホテルで開催され、JAM甲信からは執行委員長、副執行委員長、執行委員、書記局を含めて計13名が参加した。また、3人の議長団のひとりにJAM甲信の須田副執行委員長が選出された。



議長登壇にあたり挨拶をする須田副執行委員長

大会冒頭で挨拶に立った安河内会長は、「熊本地震ならびに千葉県豪雨災害で亡くなられた皆様に哀悼の意を表すとともに、被災された皆様にお見舞いを申し上げます。また、カンパ・ボランティアの取り組みにご協力をお願いしたい。被災地では、復旧・復興が始まったばかりであり、息の長い支援をお願いしたい」「2026年春闘は、JAM結成以来、初めてベア平均1万円を上回る大きな成果を上げることが出来た。粘り強く交渉を継続した単組執行部の皆様のご努力と、それを職場から支え続けた組合員の

皆様の団結力の勝利だと確信している。しかし一方で、大手と中小の格差は拡大した。ベアを継続して獲得してきた単組と実質賃金が下落した単組の間には大きな格差がある。賃上げの流れを社会全体へ広げ、持続可能なものへと発展させ、すべての働く仲間に賃上げの成果を波及させなければならない」

「JAMは、村田享子参議院議員の推薦を機関決定し運動を強化している。村田議員は、JAMと基幹労連の組合員とそこそ家族の幸せの追求のため必要不可欠な存在であり、すべての働く仲間にとって極めて重要な存在である。村田議員を再選させるべく“できることは、すべてやる”」と述べた。

大会では2027年度活動方針（案）に関する件、2027年度予算案に関する件、政策実現活動に関する件、2027年度政策・制度要求（案）に関する件など、計10件の議案が提案され、いずれの議案も賛成多数で可決、承認がされた。



大会初日終了後に甲信から参加した皆さんで

* 2027年度の活動方針の具体的な課題 *

☆政治活動の強化（補強方針から内容を抜粋）

- ・2027年施行予定の統一地方選挙において、JAM組織内・準組織内候補者の必勝に向けた取り組みの強化・推進を図ります。
- ・引き続き現場の声を集約し、組織内議員へ伝える取り組みを継続して展開し、政治を身近に感じてもらえるよう活動の“見える化”を進めます。
- ・地方JAM、単組役員だけでなく、組合員との対面・対話の機会を増やす活動を継続します。
- ・JAMの全組合員が一丸となって戦える推進計画を策定し、基幹労連と連携した各種取り組みの展開による「村田きょうこ」の個人名の更なる浸透の強化を進めます。

（以下は項目のみ）

〔1〕職場に関する取り組み

- （1）雇用確保（2）賃金・労働条件（3）男女の均等待遇（4）安全衛生活動

〔2〕組織に関する取り組み

- （1）組織の強化（2）組織拡大（3）男女平等参画の推進（4）組織変革プロジェクト
（5）財政健全化（6）共済運動の推進（7）業種別部会の活動（8）大手労組会議の活動
（9）国際労働運動の推進（10）教育と人材育成（11）青年活動
（12）広報活動とICT活用の推進（13）大規模災害への対応（14）シニアクラブへの取り組み

〔3〕社会に関する取り組み

- （1）「価値を認め合う社会へ」の実現（2）ものづくり産業・中小企業の発展
（3）他産別・業界団体等との連携（4）政策・制度の取り組み強化（5）社会・労働政策の推進
（6）政治活動の強化（7）組合員と政治を繋ぐ政治活動の推進
（8）つながり支え合う社会との連帯活動

2027年度・政策実現活動

「村田享子」参議院議員の再選に向けた取り組みスタート

2026年9月11日のJAM甲信第28回定期大会において、政策実現に関する提案を行い「村田享子」参議院議員の推薦決定をすると共に、再選に向けた具体的な取り組みをスタートさせました。

取り組み計画として、「2027-2028政策実現活動推進計画・JAM甲信版Vol.1」をご確認頂きました。組合員の皆様には、より一層のご理解、ご協力、ご支援のほど宜しくお願い致します。

＜2027-2028政策実現活動推進計画・JAM甲信版Vol.1＞

ゾーン	具体的な内容	取り組み時期
I. 浸透ゾーン	単組の推薦決定の最大化	最終締切12月31日
II. 学習ゾーン	政策実現活動に関する学習会の開催	2027年1月より要請予定
III. アクションゾーン	「応援カード（仮称）」の全単組・支部、全組合員からの回収	2027年7月より開始予定
	政治意識アンケートの展開と全組合員からの回収	2027年11月より展開予定
IV. 拡大定着ゾーン	各種セミナーの実施	2028年3月～6月
	模擬投票の実施強化	2028年3月より
V. 定着点検ゾーン	信書作戦の準備・展開	2028年4月より展開予定
VI. 実戦ゾーン	期日前投票の徹底	2028年7月

ご支援のほど、
よろしく
お願い致します！



2026年年末一時金・労働協約取り組み方針について

2026年年末一時金並びに労働協約の取り組みにおいて、以下にJAMとしての取り組み方針の概略を記しますのでそれぞれご確認ください。

※情勢や詳細については、「JAM甲信第28回定期大会の議案書・資料編」に記載されています。

■労働協約における最重点課題と重点課題

1. 最重点課題
JAM労働時間指針に沿った労働時間への取り組み
2. 重点課題
 - ①高齢者雇用の取り組み
 - ②多様性に対応した包摂的な雇用環境の整備
 - ③安全で健康に働ける職場環境の整備
 - ④労働協約の債務条項及び企業の財務状況について
3. 要点検項目
 - ①賃金・労働条件の実態の把握と分析
個別賃金要求準備、企業内最低賃金協定の点検
 - ②物価上昇を踏まえた各種手当の点検
 - ③退職金・企業年金の保全状況の把握等について

■年末一時金の取り組み

1. 年間5ヶ月基準
または半期2.5ヶ月基準
2. 最低到達基準：年間4ヶ月
または半期2ヶ月

■取り組みの日程

1. 労働協約
要求提出：10月01日（木）まで
回答指定日：11月05日（木）まで
2. 年末一時金
要求提出：10月15日（木）
回答指定日：11月05日（木）

☆JAM甲信ホームページにも最新情報満載☆

<https://www.jamkoushin.com>